

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン事業の改定について

令和3年3月に策定した標記ビジョンについて、次のとおり改定しようとするもの。

1 改定の内容について

(1) 各事業の更新

- ・「事業費見込み」及び成果指標の「現状値」を最新の内容に更新する。
- ・「No. 1-16 エコツーリズムの振興」において、「業務概要」及び「見込まれる成果」を修正するとともに、調整中としていた「成果指標」を新たに設定する。

(2) 新規事業の掲載

「国際リニアコライダー誘致推進事業」について、広域連携による取組として検討を進めるため、「今後検討する事業」として、新たに掲載する。

【事業概要】

国際リニアコライダーの誘致実現を目指した取組を進めるとともに、誘致実現後の外国人居住者の増加や関連企業の集積、新産業の創出など社会変化の対応について情報共有を図りながら、広域で連携したまちづくりのあり方を検討する。

【令和4年度事業内容】

- ・ ILC 誘致実現を見据えた情報共有及び盛岡広域におけるまちづくりの検討（0 千円）
- ・ ILC 及び国際化のまちづくりの推進に係る普及啓発事業の実施（103 千円）

2 今後検討する事業について

「今後検討する事業」として掲載している7事業については、担当部局間で令和4年度も引き続き事業化に向けた検討を行う。

分野	事業名	検討状況
戦略1 ア	新しい生活・産業様式に対応するための調査研究事業	国のデジタル田園都市国家構想の実現を見据え、各市町の取組状況について情報共有しており、引き続き広域連携による展開の可能性について検討する。
戦略2 ア	広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業	バスについては、令和3年度に一部路線の交通系 IC カード導入に対する補助を実施したが、他の交通機関については具体的な検討には至っておらず、今後も事業者等を交え検討する。
	北岩手・北三陸横断道路の整備促進	令和3年6月に策定された「岩手県新広域道路交通計画」において「構想路線」として位置付けられたことから、今後も早期着手について要望活動を実施する。

分野	事業名	検討状況
戦略 2 ア	盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進	盛岡西廻りバイパスについては、国土交通省東北地方整備局「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」に位置付けられたことから、今後も早期着手について要望活動を実施する。 北バイパスの整備計画については、現時点では構想路線の段階とことから、今後も整備促進を要望する。
	一般国道4号「盛岡南道路」の整備促進	国において、平成30年度から調査等を実施しており、令和3年度には都市計画決定に係る手続きを進めていることから、引き続き整備促進を要望する。
戦略 3 イ	地方創生SDGs推進調査研究事業	盛岡市と岩手県立大学との共同研究として、地方創生SDGs登録・認証等制度に係る調査内容を共有しており、引き続き制度構築上の課題の解消等について検討する。
	デジタル化推進調査研究事業	国のデジタル田園都市国家構想の実現を見据え、各市町の取組状況について情報共有しており、引き続き広域連携による展開の可能性について検討する。

3 改定スケジュール

日付	内容
令和4年2月15日	盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会において、改定案に対する意見聴取
令和4年2月22日	盛岡広域首長懇談会において、改定案を協議
令和4年3月 下旬	第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン改定